



令和7年度 学校の重点目標について!

運動場に向かう階段横に咲いていました

本年度、国分小学校の教育活動として頑張っていく「重点目標」を次のようにしています。

「やってみる・わかる・できる喜びを実感し、
学校生活を楽しむ子どもの育成」
～自分からチャレンジ!・できるまでチャレンジ!・仲間とチャレンジ!～

今月は、各学年の「自分からチャレンジ!できるまでチャレンジ!」する姿を紹介します。

① 朝のあいさつ運動にて

毎朝…とはいきませんが、昇降口前であいさつを行っています。この子どもたちの姿を見て、とても考えることがあります。それは、「文化の伝承」です。国分小の子どもたちは、立ち止まりあいさつがとても上手です。各学年の子どもたちが自分から進んで立ち止まり、「校長先生、おはようございます!」と元気な声であいさつをしてくれます。その声を聴くと、私自身が元気をもらいます。なので、「おはようございます!あなたのあいさつでげんきをもらいました!」や「とてもじょうずなあいさつですね」といった声かけをしています。この姿が、入学して2か月半経つ1年生にも浸透しています。きっと、まわりのお兄さん、お姉さんの様子を見て、「そうするものだ」と行動に移せているのではないのでしょうか。このことが、先ほど述べた「文化の伝承」であると思います。1年生の中には、立ち止まりあいさつで大きな声であいさつをすることのできる子どもたくさん見られます。国分小学校の素晴らしい文化になりつつあります。

本年度の学業院中学校ブロック(学業院中、水城小、国分小)学校運営協議会では、「進んで挨拶する姿を育てていきましょう」という目的のもと、あいさつ運動に取り組みます。家でも、学校でも、地域でも進んで挨拶できる子どもを育てていきます。ご家庭でのご協力をお願いいたします。

② 各学年の様子から

各学年で自分からチャレンジする姿が見られています。

1年生は、朝顔の水やりを進んで行っています。毎日、水やりしながら、私に話しかけてくれます。「葉っぱが大きくなりました。」「つるが伸びてきました。」「たくさん葉っぱが出ました。」などなど、気持ちを話してくれます。1年生は、言葉で表現し、絵や短い文に表すこ



↑朝顔を観察する1年生



↑1年生に教える2年生

とが大切な学習です。この体験が、3年生から始まる「理科」の学習につながっていきます。

2年生は、先日、学校探検で1年生に学校の部屋を説明していました。「ここは、校長室です。校長先生がお仕事をする部屋です。」そんな上手な説明を1年生にしていました。このような説明をするために、何回も校長室を見に来て、説明の仕方を考えていた2年生もいました。自分で気

づいた部屋の特徴を自分の言葉で他者に説明することも生活科の大切な学習です。

3年生は、習字にチャレンジです。横画の練習をしていました。日ごろ使い慣れている鉛筆と違うところは、太さがあること、やわらかく、筆の動かし方で線が変わっていくことです。悪戦苦闘しながら、横画を一生懸命書いていました。3年生の学習では、他にも新しく始まるものがたくさんあります。音楽のリコーダーもその一つです。リコーダーは、息を吹き込みながら音を出します。少し前まで、マスク生活をしていた子どもたちです。息を調節しながら吹き込むことに難しさを感じる子もいます。また、見えないところで両手の指を動かしながら音の高さを調節することに難しさを感じる子もいます。新たな活動を楽しみながら、2 つ目の重点目標である「あきらめずにチャレンジ!」をしてほしいと願っています。



↑角の大きさを表す工作物

4年生は、算数「角の大きさ」の学習に取り組んでいました。角の大きさは、なかなか捉えにくい子どもがいます。折り紙の扇のようなものを自分で作り、角の大きさが見てわかるような工夫をして、確認していました。一人一人が作ることで、角の大きさについて、実感していました。今は、三角定規の角度や 2 つ合わせると何度になるか…といった学習に進んでいます。二等辺三角形の定規の内側の角度は、 90° 、 45° 、 45° 、もう一つの直角三角形は、 90° 、 30° 、 60° といった角の大きさを使った問題などにチャレンジしています。

メイトの各学級では、学校の梅の実を使った「梅ジュース」づくりにチャレンジしました。一人一人が「ヘタを取る⇒梅を洗う⇒瓶に梅を入れる⇒氷砂糖を入れる」といった活動を体験している姿がとても素敵でした。その中で分かったことが、氷砂糖を知らなかったということです。「氷」とついているので、冷たい砂糖をイメージしていたみたいです。確かに、今では家庭の中で見なくなった品物かもしれません。



↑梅ジュースをつくる様子

③ できるまでチャレンジ!

5年生は、6月10日に福岡県学力調査を行いました。本年度の福岡県学力調査は、タブレットでの受験となりました。この日に至るまで、「スキルタイム」や「復習タイム」で復習を行いました。学力向上コーディネーターである長先生、小林先生、教頭先生を中心として、本部の先生方のご協力を得て、一人一人に説明や丸つけを行いながら、丁寧に復習をしていきました。たくさんの先生方が関わってくださり、繰り返し取り組む中で、一人一人が「難しい」「わからない」といったマイナスの感情から「ちょっと考えたらできるかも…」といったプラスの感情に変わっていきました。このことが大切であると考えます。



↑タブレットで受験する5年生

6年生は、図工で「わたしの大切な場所」というテーマで、絵に表す活動を行っています。タブレットで自分の絵に表したい大切な場所を撮影し、それを絵に表しています。「あーでもない、うーん、違うなあ」などつつぶやきながら、消しては描き、また、消しては描きを繰り返しながら作品を完成させていっていました。まさに、「できるまでチャレンジ!」です。

<ティー・ブレイク> 先日、1年生が図工の学習で、ビニル袋で作ったカッパを着て運動場を歩いていました。その作品に描いた絵のかわいさと1年生が作品を身に着けて歩く姿のかわいらしさで、思わず写真を撮りました。小雨交じりの運動場を自分で作ったかっぱを着て歩く1年生の眼は、キラキラと輝いていました。きっと自分で作った作品に対する満足感と小雨交じりの中、歩くわくわく感でいっぱいだったのではないのでしょうか。

見ている私も思わず笑顔になりました。

